



キャリアアップセミナー

自治体経営ケーススタディ

～何に悩んで、どう判断したか～



日時

6月28日（金）

15：00－17：00

場所

オンライン（zoom）

費用

無料

対象

- ・自治体財政部門職員
- ・自治体政策・企画部門職員
- ・財政部門での業務経験がある自治体職員
- ・財政に関心のある自治体職員

自治体経営ケーススタディ

～何に悩んで、どう判断したか～

企画部門・財政部門・DX部門など組織横断の部署には、事業担当部署とは違った苦労があります。皆さんの中にも、どんな方針を立てればよいか、どうしたら他部署を巻き込めるか、悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、静岡県裾野市副市長の及川涼介さんを講師にお招きします。及川さんは、総務省、スタートアップ企業を経て、2022年に副市長に就任してから、新市長の公約達成、財政非常事態宣言の解除、自治体DXの推進などに幅広く取り組んでこられました。これらのご経験から、市役所全体の経営に対して何に悩み、どう判断してきたのか、お話を伺います。

副市長という立場の視点や考え方を知ることは、きっと皆さんの今後のキャリア形成にも役立つはずです。

講師プロフィール



裾野市副市長 及川 涼介（おいかわ・りょうすけ）

神奈川県横浜市出身。2017年4月、総務省に入省し、マイナンバー制度などを担当。2020年7月、株式会社グラファーに転職し、自治体の行政手続きデジタル化などを支援。2022年4月から現職。市全体の方針策定、財政健全化、DXの推進など、市役所のビジョンである「日本一市民目線の市役所」の実現に向けて取り組んでいる。

申し込みフォーム



<https://qr.paps.jp/usX5U>

※上記からのお申し込みが難しい場合は別添の申込書をconsensus@lg-zaisei.comまでお送りください。

その他

- ・本講演に申し込んでいただいた方は会員として登録させていただき、講演会の開催案内やメルマガ等を配信させていただきます。
- ・記録のため、当日は録画をさせていただきますので予めご了承ください。
- ・参加URLは当日までに申込時にいただいたメールアドレス宛にお送りいたします。



当会は「持続可能な自治体運営を図る」をミッションに、全国自治体の財政部門を中心とした自治体職員の皆さんに会員として参加いただきながら日常業務で抱えている課題や苦悩を共有したり、それらに対する解決方法などを研究したりしています。
2024年5月現在で422の会員の皆さんと活動しています。